

ゴーリキーの「情勢認識」について

七五三 エヌ・イ・ブハーリンへ

一九二二年九月七日

同志ブハーリン！

ゴーリキーのくだらない手紙を読んだ（『ソツィアリスチーチェスキー・ヴェーストニク』で*）。新聞で（エス・エルについて）彼をやっつけようかと思ったが、たぶんそれはゆきすぎだときめた。相談しなければならぬ。彼にあつて話し合ってもらえないだろうか？

どうか君の意見を聞かしてくれたまえ。私はあまり新聞を見ていない（外国の新聞はほとんど見ていない）。つまり「情勢」もあまり知らない。君の意見をなるべく詳しく書いてくれたまえ。

われわれ一同から奥さんと君によろしく。

レーニン

二伸。私はもうほとんど健康だ。

三伸。クレチンスキーに、『ソツィアリスチーチェスキー・ヴェーストニク』の 1922 年 7 月 20 日号にのったゴーリキーの手紙の原文を届けてくれるように手紙を書く。

彼が忘れそうなら、君が送ってくれたまえ。

事項訳注 P921

*反革命活動の理由で起訴されたエス・エルの裁判についてアナトール・フランスにあてたゴーリキーの 1922 年 7 月 3 日付の手紙をさす。ゴーリキーは、この裁判を「ロシア人民解放の事業に心から尽力した人人を殺す」準備であるとし、「犯罪が許されないことを指摘して」ソヴェト政府にうったえてほしいとアナトール・フランスに要請した。ゴーリキーは、「あなたの権威ある発言は、社会主義者たちの貴重な生命を守ることができるでしょう」と書いている。ゴーリキーはまた、人民委員会副議長リュコフにあてた自分の手紙の写しをフランスに送った。彼はこの手紙で、被告たちへの死刑の判決は、「社会主義的ヨーロッパによるロシアの精神的封鎖」をまねくだろうと警告した。

第 45 卷 P733-734 『エヌ・イ・ブハーリンへ』

1922 年 9 月 7 日に執筆

1965 年にはじめて『レーニン全集』第五版、第 54 卷に発表

手稿によって印刷

コメント

私（青山）には「情勢」がわからないので、レーニンの判断が正しいのか、ゴーリキーの判断が正しいのかわからない。